

山梨県富士山科学研究所 中期計画(H26～H30) 総合評価表

総合評価	<p>(意見等)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 旧環境科学研究所での研究実績を引継ぎつつ、富士山を中心とした自然環境に関する研究や、火山に関する研究の推進など富士山科学研究所の特色を出すよう努力している。・ また、先進的かつ信頼性の高い科学的手法を用いて、社会的に重要な課題の解決に向けた実用的な成果が着実に得られており、総合力の非常に高い研究所として評価できる。・ 特に、マネジメント体制の強化に取り組まれたことは、評価できる。・ 一方で、人と自然との共生に係る研究分野など成果が十分と言えない部分があるなど、研究分野ごとに進捗のばらつきが見られる。・ 以上から、当研究所の中期計画に係る進捗状況について、総合的に判断して、質・量両面において、着実に成果をあげていると評価できる。
	<ul style="list-style-type: none">・ 今後は、研究所としての課題を精査した上で、研究活動の一層の強化を図るとともに、県の本庁や地元市町村などとの連携をより一層促進していく必要がある。特に、世界遺産富士山をフィールドに先進的な研究を担うことが期待されることから、人と自然の関係に関する分野・自然環境に関する分野については更に充実していく必要がある。・ また、環境教育・交流部門は少ないスタッフで努力して、大変充実した内容で取り組まれており評価できるが、業務量に見合った人員増が必要と思われる。・ なお、委員会での評価に際しては、年報等の研究所の詳細な研究実績の概要が分かる資料を提示してほしい。
	A

平成30年12月13日
山梨県富士山科学研究所運営委員会

(評価基準)

S: 質・量両面において想定以上の成果

A: 質・量両面において着実に成果

B: 質(又は量)面において取り組みが不十分

C: 質・量両面において取り組みが不十分